

Epson Monitoring Tool ユーザーズマニュアル

製品概要

Epson Monitoring Toolの概要および動作環境について説明しています。

環境構築

環境の構築方法について説明しています。

使い方

Epson Monitoring Tool の運用に必要な情報を説明しています。

トラブルシューティング

問題発生時の対応方法を説明しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows Server[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi[®]、WPA[™]、WPA2[™] は Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

© Seiko Epson Corporation 2013-2017. All rights reserved.

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、Epson Monitoring Tool の使用に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

- 第 1 章 [製品概要](#)
- 第 2 章 [環境構築](#)
- 第 3 章 [使い方](#)
- 第 4 章 [トラブルシューティング](#)

目次

■ 安全のために	3
記号の意味	3
■ 使用制限	3
■ 本書について	4
本書の目的	4
本書の構成	4
■ 目次	5

製品概要	7
■ 特長	7
■ 動作環境	9
管理者コンピューター	9
クライアントコンピューター	10
監視可能なプリンターの台数	10
監視できるプリンター	10
設定できるプリンター	11
■ OS による違い	12
■ 最新版のダウンロード	12
■ 制限事項	12

環境構築	13
■ 環境の構築	13
Epson Monitoring Tool のインストール / アンインストール	14
管理者コンピューターのファイアウォールの設定	15
クライアントコンピューターのファイアウォールの設定	17
■ システム構築例	21

使い方	23
■ ツールの起動	23
■ プリンターの登録	24
ネットワークプリンターの登録	24
クライアントコンピューターに接続されたプリンターの登録	26
リストを使用してプリンターを登録する	28
ネットワークの探索	29
プリンターの削除	31

■ プリンターの監視	32
■ ネットワークプリンターのネットワーク設定変更	34
■ プリンターの設定を個別に変更する	36
■ プリンターの設定を一括で変更する	38
バックアップファイルの作成	38
プリンターの設定を変更	42
証明書の更新	45
■ 故障プリンターの置き換え	50
機種専用ユーティリティがある TM プリンター	50
TM-C7500/ TM-C3500	51

トラブルシューティング.....52

■ Acknowledgements	54
--------------------------	----

製品概要

本章では、Epson Monitoring Tool の特長および動作環境について説明しています。

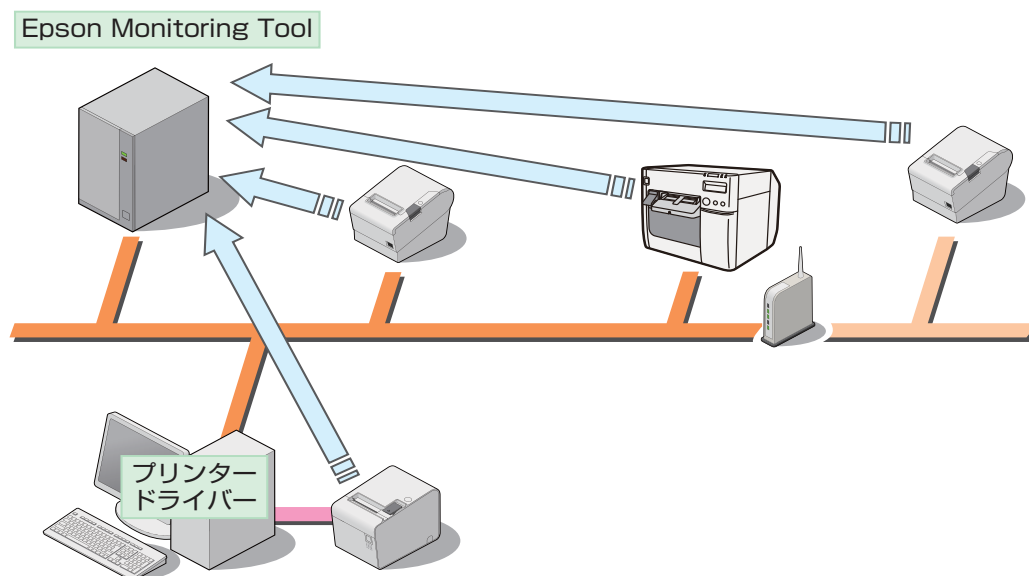
特長

Epson Monitoring Tool（以下本ツール）は、管理者コンピューターからネットワーク（LAN）に接続されているプリンターの状態を監視したり、プリンターの設定を変更したりするアプリケーションです。また、プリンター故障時の置き換え時にも活用できます。

プリンターの監視

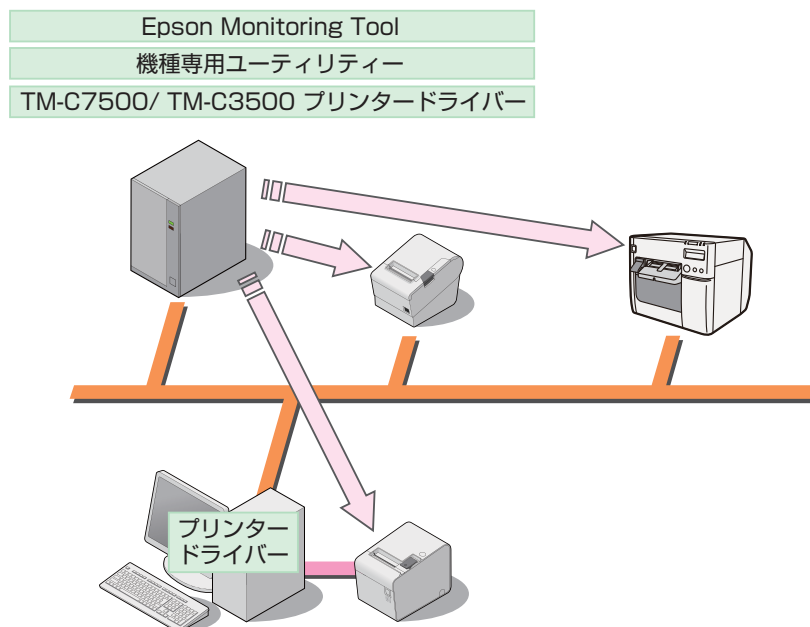
ネットワークに接続されたプリンターと、クライアントコンピューターに接続された TM プリンターのステータスを取得して表示します。

監視できるプリンターについては、[10 ページ「監視できるプリンター」](#)を参照してください。



プリンターの設定

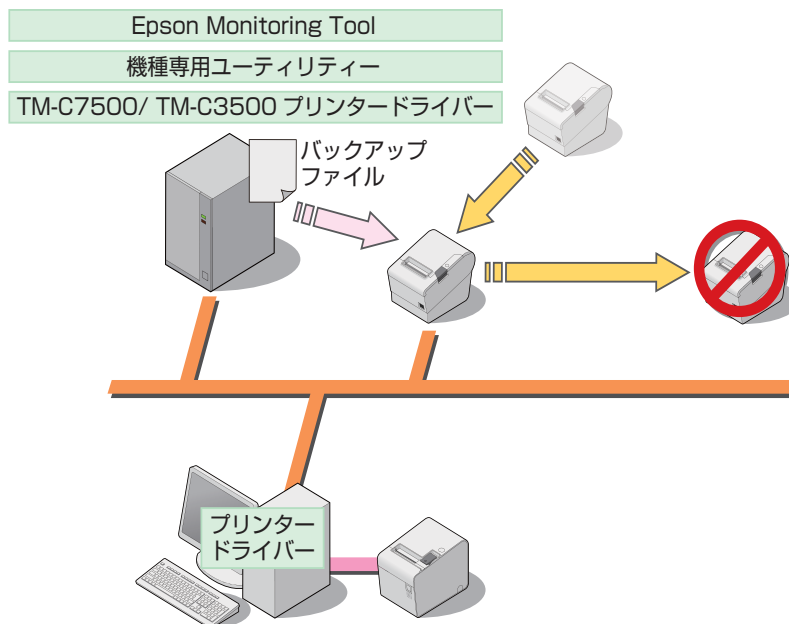
プリンターのネットワーク設定や、ネットワークプリンターの WPA-Enterprise/WPA2-Enterprise で使用する証明書の更新ができます。また、TM プリンターの機種専用ユーティリティなどをインストールすることで、プリンターの設定を変更したり、複数のプリンターの設定を一括で変更したりできます。設定できるプリンターについては、[11 ページ「設定できるプリンター」](#)を参照してください。



故障プリンターの置き換え

故障したプリンターの設定と IP アドレスを、新しいプリンターに設定します。バックアップファイルを使用すると、プリンターの設定を簡単に復元できます。

クライアントコンピューターに接続された TM プリンターの設定も復元できます。



動作環境

管理者コンピューター

管理者コンピューターとは、プリンターを監視 / 設定するコンピューターです。

サポート OS

- Windows 10 (32 bit / 64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit / 64 bit)
- Windows 8 (32 bit / 64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit / 64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit / 64 bit)
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit / 64 bit)

ソフトウェア

- Epson Monitoring Tool
- TM プリンターの機種専用ユーティリティ *
- TM-C3500 プリンタードライバー Ver 1.0.0.5a 以降 *
- TM-C7500 プリンタードライバー *

* プリンターの設定をする場合、プリンターの機種ごとに用意されたソフトウェアが必要です。

クライアントコンピューター

クライアントコンピューターとは、POS 端末や KIOSK 端末など、プリンターを接続しているコンピューターです。管理者コンピューターの Epson Monitoring Tool から、プリンターを監視 / 設定できます。

サポート OS

Windows

- Windows 10 (32 bit / 64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit / 64 bit)
- Windows 8 (32 bit / 64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit / 64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit / 64 bit)
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit / 64 bit)
- Windows Embedded Standard 7 SP1 (32 bit / 64 bit)
- Windows Embedded POSReady 7 (32 bit / 64 bit)

ソフトウェア

クライアントコンピューターに接続されたプリンターの監視や設定を変更する場合、プリンターの機種に対応した、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

- EPSON Advanced Printer Driver Ver. 5
- EPSON Advanced Printer Driver Ver. 4.09 以降
- EPSON OPOS ADK Ver. 2.66 以降
- EPSON OPOS ADK for .NET Ver. 1.11.9 以降
- GP-C83x プリンタードライバー Ver.2.1.0.0 以降^{*1}
- Epson Monitoring Tool^{*2}

*1 管理者コンピューターからプリンターを監視できますが、設定はできません。

*2 GP-C830/GP-831/GP-832 の場合に必要です。それ以外の機種の場合は不要です。

監視可能なプリンターの台数

- プリンター数: 64 台

監視できるプリンター

- エプソン製ネットワークプリンター
- クライアントコンピューターのプリンター
 - TM プリンター (TM-Cxxxx を除く)
 - GP-C830/GP-831/GP-832

設定できるプリンター

ネットワークプリンター

- 機種専用ユーティリティが存在する TM プリンター
 - TM-C3500
 - TM-C7500
 - GP-C830 */GP-C831 */GP-C832 *
- * Backup ファイルからの復元のみ可能です。

無線 LAN の設定と証明書を更新

WPA-Enterprise 対応機種とファームウェアバージョンは以下のとおりです。

機種	Wi-Fi® ファームウェアバージョン
TM-P20	-
TM-P60II	Ver.1.04 以降
TM-P80	-
無線 LAN インターフェイス UB-R04 を搭載した TM プリンター	Ver.1.05 以降 (UB-R04 のファームウェア)

WPA2-Enterprise 対応機種とファームウェアバージョンは以下のとおりです。

機種	Wi-Fi ファームウェアバージョン
TM-m10 *	-
TM-m30 *	-
TM-T88VI *	-
ネットワークインターフェイス UB-E04 とオプションの専用無線 LAN ユニットを接続した TM プリンター	-

* オプションの専用無線 LAN ユニットを接続。

クライアントコンピューターに接続されたプリンター

- 機種専用ユーティリティが存在する TM プリンター

OS による違い

本書では OS によって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書では Windows 7 の画面で説明をしています。 他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。
アンインストール	Windows 10 [スタート]-[設定]-[アプリ] (または [システム])-[アプリと機能] Windows 8.1/Windows 8 [デスクトップ]-サイドバー[設定]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] Windows 7 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] Windows Vista [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<<http://www.epson.jp/support/>>

制限事項

- プリンターの設定を変更している間は、他のアプリケーションからの印刷はできません。

環境構築

本章では、環境の構築方法を説明しています。

環境の構築

以下の手順で環境を構築してください。

参考

複数のクライアントコンピューターを監視する場合、それぞれのコンピューターに環境構築をします。

管理者コンピューターの環境構築

1. ユーティリティーやドライバーのインストール

プリンターの設定をする場合にインストールします。プリンターの監視をする場合は不要です。

2. Epson Monitoring Tool のインストール (14 ページ)

Epson Monitoring Tool をコンピューターにインストールします。

3. ファイアウォールの設定 (15 ページ)

ネットワーク環境で必要な場合に設定します。

クライアントコンピューターの環境構築

クライアントコンピューターに接続されたプリンターを監視 / 設定する場合に、以下の環境構築をします。

4. ドライバーのインストール

プリンターの使用に必要なドライバーをインストールします。
使用できるドライバーは、10 ページ「ソフトウェア」を参照してください。

5. ファイアウォールの設定 (17 ページ)

ネットワーク環境で必要な場合に設定します。

必ず行っていただく内容です。

必要に応じて行っていただく内容です。

Epson Monitoring Tool のインストール / アンインストール

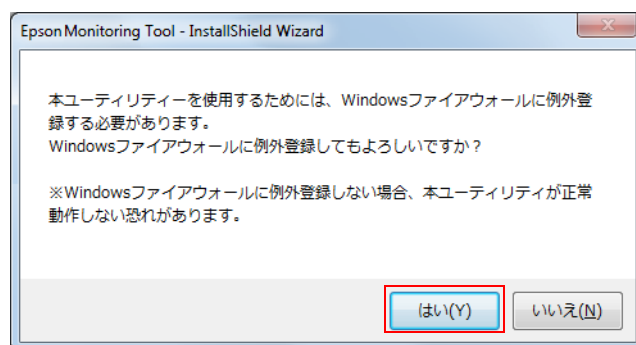
インストール

EpsonMonitoringToolxx.exe を実行します。画面の指示に従ってインストールしてください。

参考

- 管理者権限でインストールしてください。
- インストール時に EpsonNet SDK for Windows が自動でインストールされます。

インストールの途中で、Windows ファイアウォールの設定画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックし、Epson Monitoring Tool を Windows ファイアウォールの例外アプリケーションとして登録します。



アンインストール

EpsonNet SDK for Windows を他のアプリケーションで使用していない場合、EpsonNet SDK for Windows もアンインストールしてください。

以下の手順でアンインストールします。

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] を選択します。
12 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 2 "プログラムのアンインストールまたは変更" 画面が表示されます。[Epson Monitoring Tool] をダブルクリックします。
- 3 Epson Monitoring Tool のアンインストール確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。Epson Monitoring Tool のアンインストールが開始されます。
- 4 "アンインストール完了" 画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。
- 5 "プログラムのアンインストールまたは変更" 画面を表示します。[EpsonNet SDK for Windows] をダブルクリックします。
- 6 EpsonNet SDK for Windows のアンインストール確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。EpsonNet SDK for Windows のアンインストールが開始されます。
- 7 "アンインストール完了" 画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

管理者コンピューターのファイアウォールの設定

ネットワークにファイアウォールが設定されている場合、通信可能なアプリケーションに Epson Monitoring Tool を登録してください。登録されていないと、プリンターを監視したり設定したりできません。

Windows ファイアウォールの場合、例外アプリケーションとして Epson Monitoring Tool を登録してください。

市販セキュリティソフトを使用している場合、通信可能なアプリケーションに Epson Monitoring Tool を登録してください。登録方法は、セキュリティソフトのマニュアルを参照してください。

Windows ファイアウォールの設定は、以下のとおりです。

Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 8

- 1 [Windows ファイアウォール] の設定画面を表示します。
 - Windows 10
[スタート]-[設定]-[ネットワークとインターネット]-[Windows ファイアウォール]
または
[スタート]を右クリック-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール]
 - Windows 8.1/ Windows 8
[デスクトップ]-[設定]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール]
- 2 設定画面が表示されます。[Windowsファイアウォールの有効化または無効化]を選択し、[許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての着信接続をブロックする]のチェックを外します。[OK] ボタンをクリックします。
- 3 [Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可]を選択します。
[許可されたアプリおよび機能]リストの[Epson Monitoring Tool]にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。
リストに表示されていない場合、[別のプログラムの許可] ボタンから Epson Monitoring Tool を追加します。

Windows 7

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール]を選択します。
- 2 設定画面が表示されます。[Windowsファイアウォールの有効化または無効化]を選択し、[許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする]のチェックを外します。[OK] ボタンをクリックします。
- 3 [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する]を選択します。
[許可されたプログラムおよび機能]リストの[Epson Monitoring Tool]にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。
リストに表示されていない場合、[別のプログラムの許可] ボタンから Epson Monitoring Tool を追加します。

Windows Vista

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] を選択します。
- 2 "Windows ファイアウォールの設定" 画面が表示されます。[全般] タブを選択し、[すべての着信接続をブロックする] のチェックを外します。
- 3 [例外] タブを選択し、[プログラムまたはポート] リストの [Epson Monitoring Tool] にチェックします。
リストに表示されていない場合、[プログラムの追加] ボタンから Epson Monitoring Tool を追加します。

クライアントコンピューターのファイアウォールの設定

ネットワークにファイアウォールが設定されている場合、通信可能なアプリケーションに Epson Monitoring Tool を登録してください。登録されていないと、プリンターを監視したり設定したりできません。

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが同一の場合とドメインが異なる場合では、設定が異なります。

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが異なる場合、ファイアウォールの設定を変更してください。Windows ファイアウォールまたは市販セキュリティソフトのファイアウォールの設定を変更し、TCP2291 番のポートを開放します。ポートを開放しないと、本ツールでプリンターの監視や設定の変更ができません。

GP-C830/ GP-C831/ GP-C832 の場合は、「管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが同一の場合」の設定をしてください。

Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 8

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが同一の場合

- 1 [Windows ファイアウォール] の設定画面を表示します。
 - Windows 10
[スタート]-[設定]-[ネットワークとインターネット]-[Windows ファイアウォール]
または
[スタート]を右クリック-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール]
 - Windows 8.1/ Windows 8
[デスクトップ]-[設定]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール]
- 2 設定画面が表示されます。[Windows ファイアウォールの有効化または無効化]を選択し、[許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての着信接続をブロックする]のチェックを外します。[OK] ボタンをクリックします。
- 3 本ツールを起動します。
- 4 [ツール]-[リモートPC接続方法]を選択します。[リモートPC接続方法]が[Windows Named PIPE]が確認します。
[リモートPC接続方法]が[TCP/IP Port 2291]になっている場合、[Windows Named PIPE]に設定します。

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが異なる場合

- 1 [Windows ファイアウォール] の設定画面を表示します。
 - Windows 10
[スタート]-[設定]-[ネットワークとインターネット]-[Windows ファイアウォール]
または
[スタート] を右クリック - [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [Windows ファイアウォール]
 - Windows 8.1/ Windows 8
[デスクトップ]-[設定]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール]
- 2 設定画面が表示されます。[Windowsファイアウォールの有効化または無効化] を選択し、[許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての着信接続をブロックする] のチェックを外します。[OK] ボタンをクリックします。
- 3 設定画面に戻ります。[Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] を選択します。[設定の変更] ボタンをクリックし、[別のアプリの許可] ボタンをクリックします。
- 4 "アプリの追加"画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックし、PCSV.exe を選択します。[追加] ボタンをクリックします。
PCSV.exe は以下のディレクトリーにあります。
C:\Program Files\EPSON\portcommunicationservice\PCSV.exe
- 5 [許可されたアプリおよび機能] のリストに [PCSV] が追加されます。[OK] ボタンをクリックします。
- 6 本ツールを起動します。
- 7 [ツール]-[リモートPC接続方法] を選択します。[リモートPC接続方法] を [TCP/IP Port 2291] に設定します。

Windows 7

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが同一の場合

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール] を選択します。
- 2 設定画面が表示されます。[Windows ファイアウォールの有効化または無効化] を選択し、[許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする] のチェックを外します。[OK] ボタンをクリックします。
- 3 本ツールを起動します。
- 4 [ツール]-[リモートPC接続方法] を選択します。[リモートPC接続方法] が [Windows Named PIPE] か確認します。
[リモートPC接続方法] が [TCP/IP Port 2291] になっている場合、[Windows Named PIPE] に設定します。

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが異なる場合

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォール] を選択します。
- 2 設定画面が表示されます。[Windows ファイアウォールの有効化または無効化] を選択し、[許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする] のチェックを外します。[OK] ボタンをクリックします。
- 3 設定画面に戻ります。[Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] を選択します。[設定の変更] ボタンをクリックし、[別のプログラムの許可] ボタンをクリックします。
- 4 "プログラムの追加" 画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックし EPuras.exe (Advanced Printer Driver Ver.4.50 以降では PCSVC.exe) を選択します。[追加] ボタンをクリックします。
 - EPuras.exe は以下のディレクトリーにあります。
C:\Program Files\EPSON\EPuras\EPuras.exe
 - PCSVC.exe は以下のディレクトリーにあります。
C:\Program Files\EPSON\portcommunicationservice\PC SVC.exe
- 5 [許可されたプログラムおよび機能] のリストに [EPuras] が追加されます。[OK] ボタンをクリックします。
- 6 本ツールを起動します。
- 7 [ツール]-[リモートPC接続方法] を選択します。[リモートPC接続方法] を [TCP/IP Port 2291] に設定します。

Windows Vista

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが同一の場合

- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]を選択します。
- 2 "Windows ファイアウォールの設定"画面が表示されます。[全般]タブを選択し、[すべての着信接続をブロックする]のチェックを外します。
- 3 本ツールを起動します。
- 4 [ツール]-[リモートPC接続方法]を選択します。[リモートPC接続方法]が[Windows Named PIPE]か確認します。
[リモートPC接続方法]が[TCP/IP Port 2291]になっている場合、[Windows Named PIPE]に設定します。

管理者コンピューターとクライアントコンピューターのドメインが異なる場合

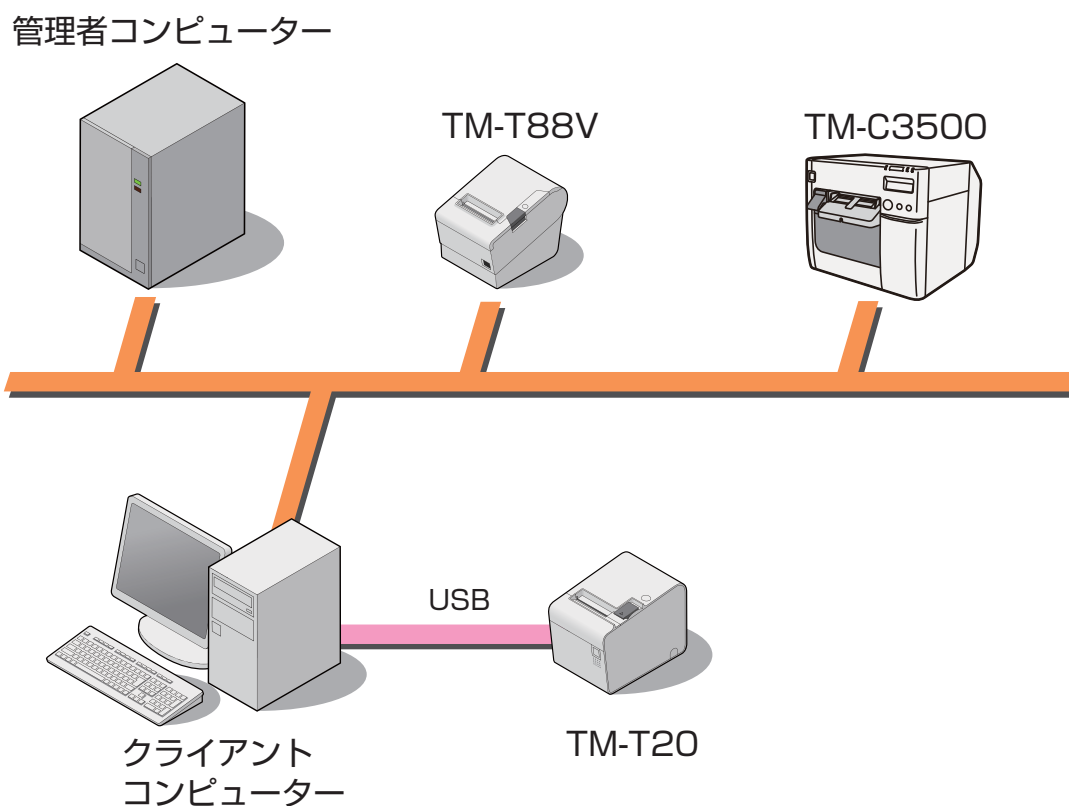
- 1 [スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]を選択します。
- 2 "Windows ファイアウォールの設定"画面が表示されます。[全般]タブを選択し、[すべての着信接続をブロックする]のチェックを外します。
- 3 [例外]タブを選択し、[ポートの追加]ボタンをクリックします。
- 4 [ポートの追加]画面が表示されます。[名前]/[ポート番号]/[プロトコル]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

項目	設定値
名前	任意の名称を設定
ポート番号	2291 に設定
プロトコル	[TCP]を選択

- 5 [プログラムまたはポート]のリストに追加されます。[OK]ボタンをクリックします。
- 6 本ツールを起動します。
- 7 [ツール]-[リモートPC接続方法]を選択します。[リモートPC接続方法]を[TCP/IP Port 2291]に設定します。

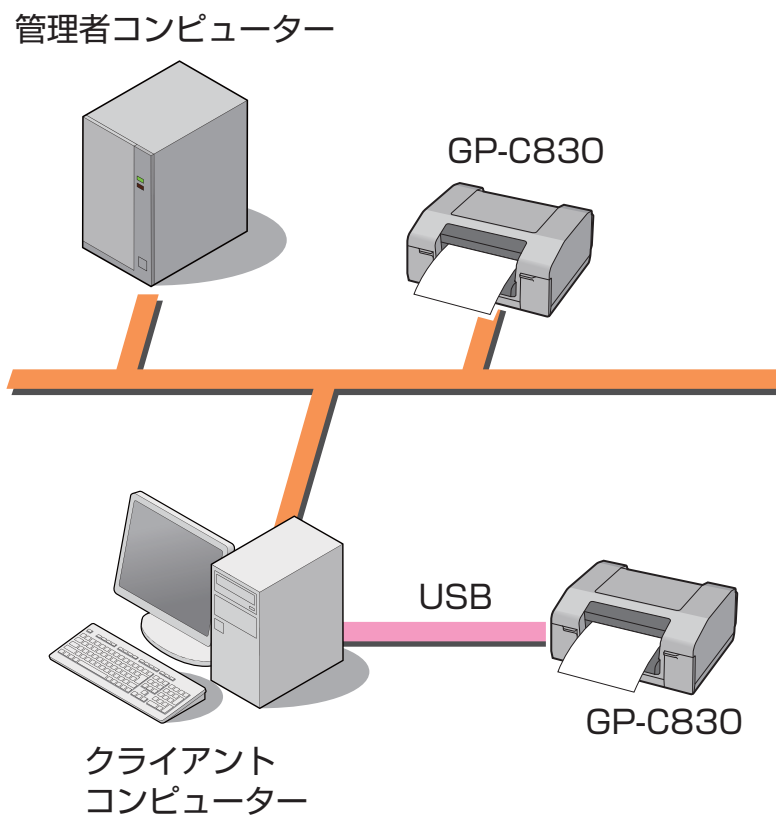
システム構築例

以下はシステム構築例です。



コンピューター	ドライバー / ユーティリティ
管理者コンピューター	Epson Monitoring Tool
	TM-T88V Utility
	TM-T20 Utility
	TM-C3500 プリンタードライバー
クライアントコンピューター	EPSON Advanced Printer Driver Ver.5

GP-C830 の例



コンピューター	ドライバー / ユーティリティ
管理者コンピューター	Epson Monitoring Tool
クライアントコンピューター	Epson Monitoring Tool
	GP-C830 プリンタードライバー

参考

クライアントコンピューターに USB 接続された GP-C830 は、管理者コンピューターからは設定できません。

使い方

本章では、本ツールの使い方を説明しています。

ツールの起動

[スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[Epson Monitoring Tool]-[Epson Monitoring Tool] を選択します。

本ツールが起動します。



参考

- EpsonNet SDK for Windows Ver.1.0h以降がインストールされていない場合、本ツール起動時にエラーメッセージが表示されます。その場合は、本ツールを再インストールすることで、EpsonNet SDK for Windows をインストールすることができます。詳細は、[14 ページ「Epson Monitoring Tool のインストール / アンインストール」](#)を参照してください。
- 本ツールを初めて起動したときに [Windows セキュリティの重要な警告] 画面が表示される場合、[ブロックを解除する] を選択してください。ブロックを解除しないとプリンターが検索されないことがあります。
- 管理者権限で実行してください。

プリンターの登録

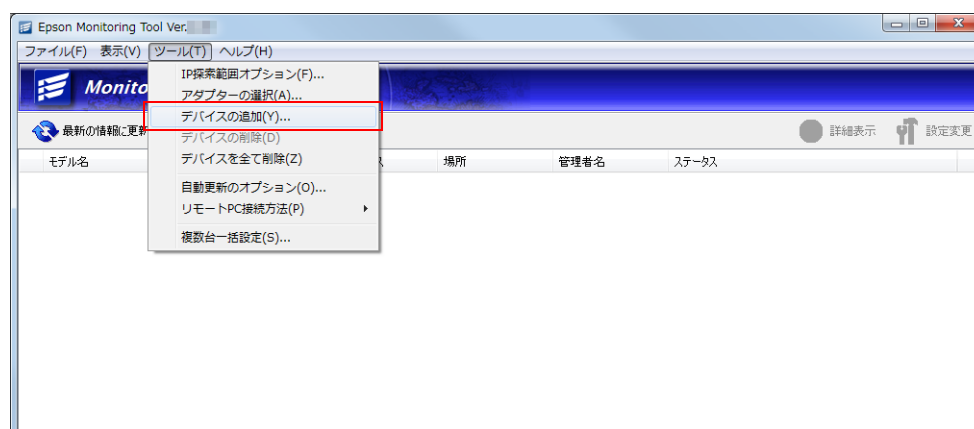
本ツールを起動すると、ネットワーク内のプリンターを検出して、監視できるプリンターがリスト表示されます。この状態では、監視したいプリンターが表示されていなかったり、監視不要なプリンターが表示されていたりします。また、クライアントコンピューターに登録されているプリンターは表示されません。そのため、監視 / 設定するプリンターを登録 / 削除します。

- ネットワークプリンターの登録 (24 ページ)
- クライアントコンピューターに接続されたプリンターの登録 (26 ページ)
- リストを使用してプリンターを登録 (28 ページ)
- 外部ネットワークの探索 (29 ページ)
- プリンターの削除 (31 ページ)

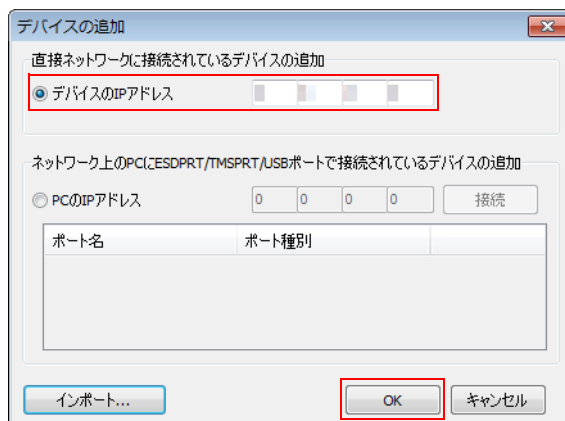
ネットワークプリンターの登録

以下の手順でネットワークプリンターを登録します。

- 1 ネットワークプリンターの電源が入っていることを確認します。
- 2 本ツールを起動します。
- 3 [ツール] - [デバイスの追加] を選択します。



- 4 "デバイスの追加"画面が表示されます。[デバイスのIPアドレス]を選択してネットワークプリンターのIPアドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ネットワークプリンターを登録して表示されます。



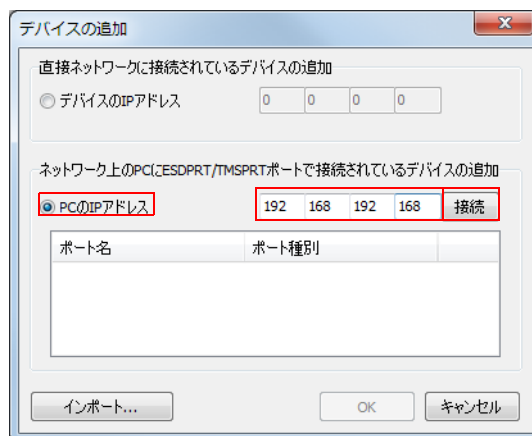
クライアントコンピューターに接続されたプリンターの登録

以下の手順でクライアントコンピューターに接続されたプリンターを登録します。

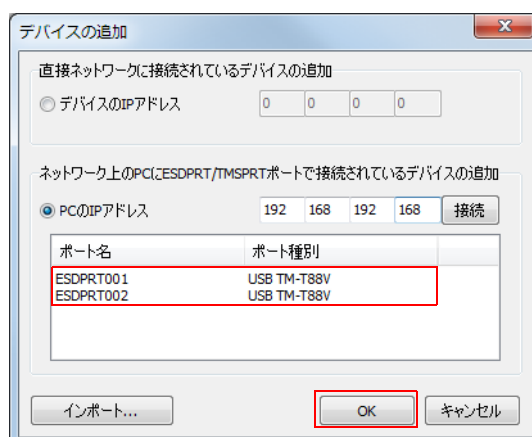
参考

事前にクライアントコンピューターの IP アドレスを確認してください。

- 1 プリンターとクライアントコンピューターが接続されていること、電源が入っていること、クライアントコンピューターがネットワークに接続していることを確認します。
- 2 本ツールを起動します。
- 3 [ツール] - [デバイスの追加] を選択します。
- 4 "デバイスの追加" 画面が表示されます。[PC の IP アドレス] を選択し、クライアントコンピューターの IP アドレスを入力します。入力後 [接続] ボタンをクリックすると、リストにプリンターが表示されます。



- 5 登録するプリンターを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



クライアントコンピューターに接続されたプリンターを登録して表示されます。IP アドレスには、「クライアントコンピューターのプリンターポート @ クライアントコンピューターの IP アドレス」が表示されます。



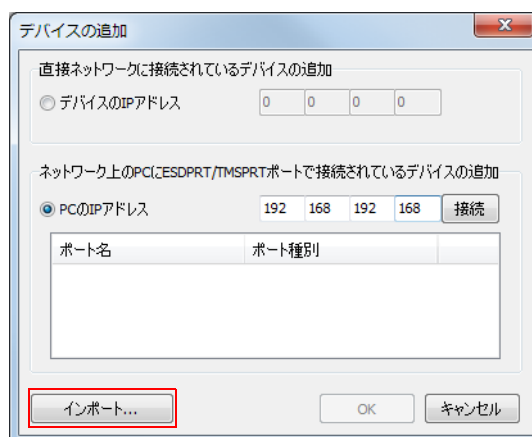
リストを使用してプリンターを登録する

登録するプリンターのリストがある場合、リストをインポートしてプリンターを登録することができます。
リスト例：(List.txt)

192.168.0.10	ネットワークプリンター
192.168.0.11	ネットワークプリンター
192.168.0.12	ネットワークプリンター
192.168.0.13	ネットワークプリンター
ESDPRT001@192.168.0.100	クライアントコンピューター (100)ESDPRT001 のプリンター
ESDPRT002@192.168.0.100	クライアントコンピューター (100)ESDPRT002 のプリンター
ESDPRT001@192.168.0.200	クライアントコンピューター (200)ESDPRT001 のプリンター
ESDPRT002@192.168.0.200	クライアントコンピューター (200)ESDPRT002 のプリンター

以下の手順でリストのプリンターを登録します。

- 1 本ツールを起動します。
- 2 [ツール] - [デバイスの追加] を選択します。
- 3 "デバイスの追加" 画面が表示されます。[インポート] ボタンをクリックします。



- 4 "ファイルを開く" 画面が表示されます。インポートするファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

機種一覧表示画面に戻ります。リストのプリンターを登録して表示されます。



ネットワークの探索

コンピュータに複数のネットワークアダプターがある、自動探索できる範囲外のネットワークの場合、自動検索でプリンターを表示できないことがあります。そのときは以下の方法で設定します。

- 別のネットワークアダプターを探索 (29 ページ)
- 探索するネットワークを指定 (30 ページ)

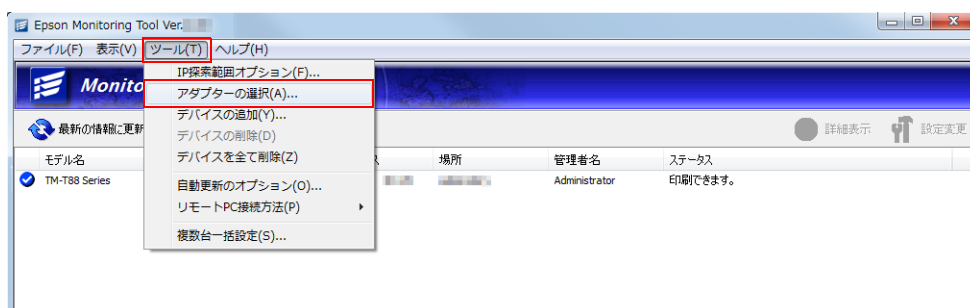
参考

- ルーターの設定やセキュリティー設定などの影響で、ネットワーク環境によっては監視できないことがあります。
- ファイアウォールの設定は、ネットワークに合わせてください。詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

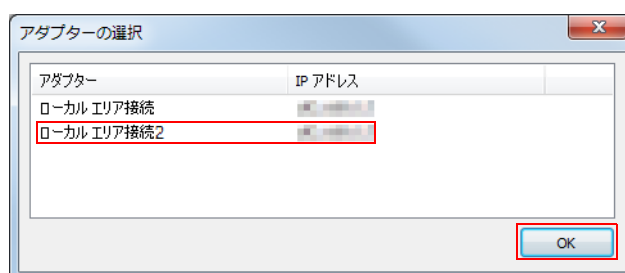
別のネットワークアダプターを探索

以下の手順で別のネットワークアダプターを探索します。

- 1 本ツールを起動します。
- 2 [ツール] - [アダプターの選択] を選択します。



- 3 "アダプターの選択" 画面が表示されます。プリンターが登録されている別のネットワークアダプターを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

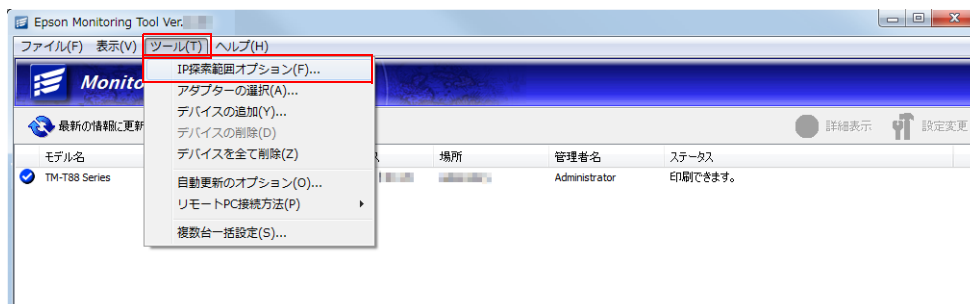


選択したネットワークアダプターを探索して、プリンターが表示されます。

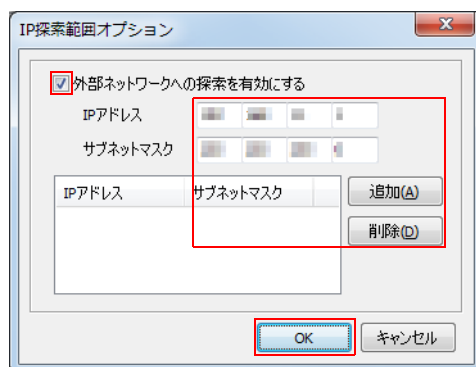
探索するネットワークを指定

以下の手順で探索するネットワークを指定します。

- 1 本ツールを起動します。
- 2 [ツール] - [IP 探索範囲オプション] を選択します。



- 3 "IP 探索範囲オプション" 画面が表示されます。各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



項目	説明
外部ネットワークへの探索を有効にする	ローカルネットワーク外のネットワークを探索する場合にチェックします。
IP アドレス	探索するネットワークの IP アドレスを入力します。 ホスト部のビットをすべて 0 にしたアドレスを入力してください。 入力例： 探索するセグメントのサブネットマスクが 255.255.255.0 で、プリンターの IP アドレスが 192.168.192.168 の場合、[IP アドレス] に 192.168.192.0 と入力します。
サブネットマスク	検索したいセグメントのサブネットマスクを入力します。
追加	クリックすると、入力した IP アドレスとサブネットマスクが登録され、[探索アドレス一覧] に表示されます。外部ネットワークを 8 つ登録できます。ここに追加した IP アドレスは、探索対象ネットワークになり、デバイスを検出すると機種一覧表示画面に表示されます。
削除	探索アドレス一覧からネットワークの IP アドレスを選択してクリックすると、[探索アドレス一覧] から削除されます。

指定したネットワークを探索して、プリンターが表示されます。

プリンターの削除

本ツールの機種一覧表示画面に表示されているプリンターを削除することができます。
同一ネットワークのプリンターの場合、本ツールを再起動するとプリンターが再び登録されて表示されます。
クライアントコンピューターにローカル接続されているプリンターおよび同一ネットワーク外のプリンターの場合、プリンターを削除すると本ツールを再起動しても表示されません。

登録したプリンターを個別で削除

以下の手順でプリンターを削除します。

- 1 本ツールを起動します。
- 2 機種一覧表示画面から、削除するプリンターを選択します。
- 3 [ツール] - [デバイスの削除] を選択します。

機種一覧表示画面から、プリンターが削除されます。

登録したプリンターをすべて削除

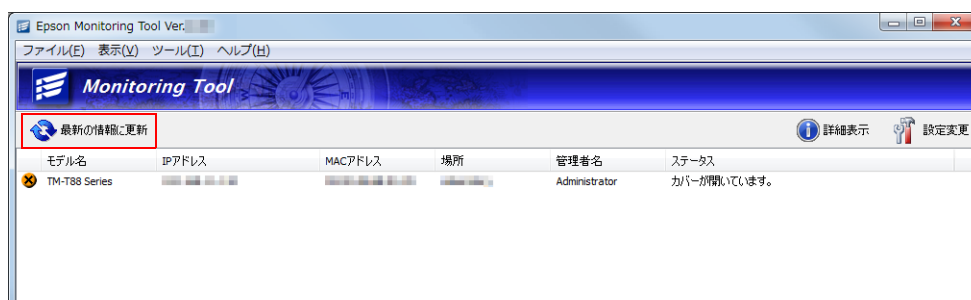
以下の手順でプリンターをすべて削除します。




- 1 本ツールを起動します。
- 2 [ツール] - [デバイスを全て削除] を選択します。
- 3 確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックするとプリンターが削除されます。

機種一覧表示画面から、プリンターが削除されます。

プリンターの監視

本ツールにプリンターを登録すると、プリンターを監視してプリンターからステータスを取得して表示します。デフォルトでは、[最新の情報に更新] ボタンをクリックすることで、プリンターのステータスを取得して表示します。[ステータス自動更新オプション] を有効にしていると、定期的にステータスを確認して自動更新されます。(33 ページ「ステータス自動更新オプション」参照)



項目	説明	
アイコン		正常に動作しています。
		ワーニングが発生しています。ステータスを確認してください。
		エラーが発生しています。ステータスを確認してください。
モデル名	プリンターモデルが表示されます。	
IP アドレス	プリンターの IP アドレスが表示されます。 クライアントコンピューターに接続されたプリンターの場合、以下のように表示されます。 コンピューターのプリンターポート @ コンピューターの IP アドレス 例 : ESDPRT001@192.168.192.168	
MAC アドレス	プリンターの MAC アドレスが表示されます。	
場所	プリンターに登録していると表示されます。	
管理者名	プリンターに登録していると表示されます。	
ファームウェア	ファームウェアのバージョンが表示されます。 TM-C3400/TM-C3500 のみ表示されます。	
ステータス	プリンターのステータスが表示されます。 ステータスには以下のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷できます。 レシート用の用紙が残りわずかになりました。 レシート用の用紙がなくなりました。 エラーが発生しています。 オートカッターエラーが発生しています。 致命的なエラーが発生しています。 エラーを修復中です オフライン状態です。 カバーが開いています。 ステータスを取得できませんでした。 未定義のステータスを受け取りました。 	

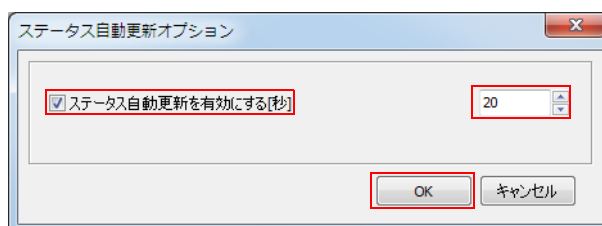
参考

プリンターの機種によって、取得できるステータスの内容が異なります。内容およびエラー発生時の対処方法は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

ステータス自動更新オプション

定期的にステータスを更新するには、ステータス自動更新オプションで更新時間を設定できます。デフォルトは 20 秒です。

- 1 本ツールを起動します。
- 2 [ツール] - [自動更新のオプション] を選択します。
- 3 "ステータス自動更新オプション" 画面が表示されます。[ステータス自動更新を有効にする] をチェックします。更新する間隔を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ステータス詳細表示

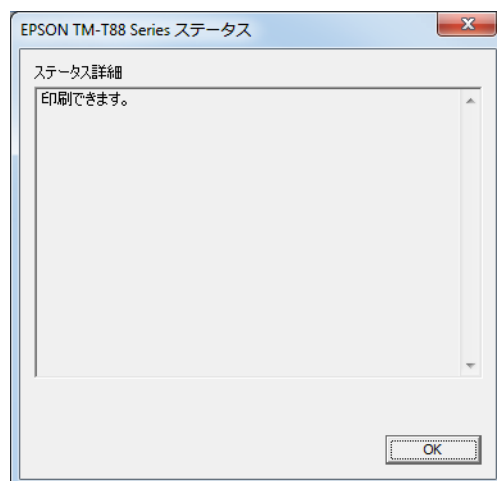
以下の手順で、プリンタステータスの詳細を表示します。

- 1 本ツールを起動します。
- 2 機種一覧表示画面から詳細なステータスを表示したい機種を選択し、[詳細表示] ボタンをクリックします。
- 3 プリンタのステータス画面が表示されます。選択した機種の詳細情報と対処方法を確認できます。

参考

ステータス画面は、プリンタの種類によって項目が異なります。

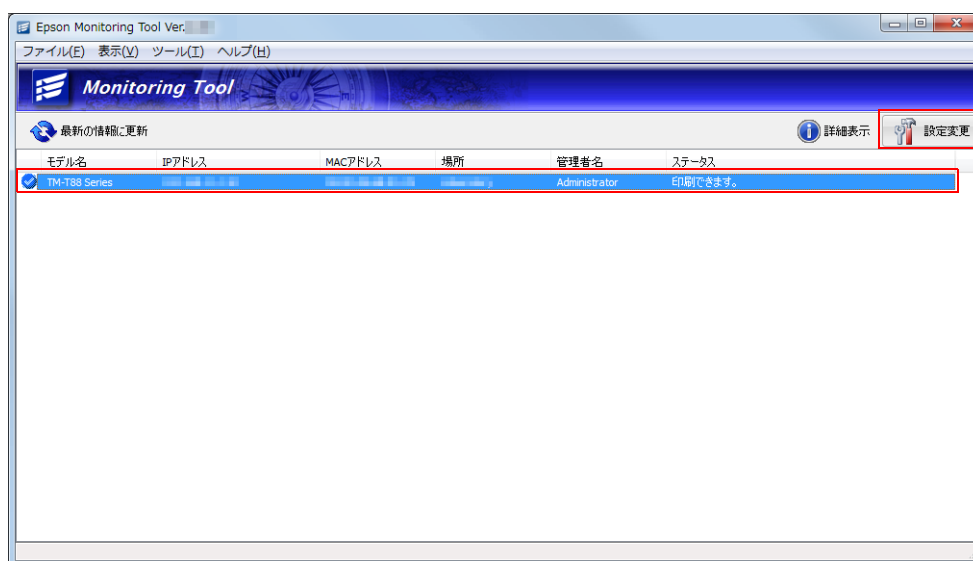
例：TM-T88V



ネットワークプリンターのネットワーク設定変更

以下の手順でネットワーク設定を変更します。

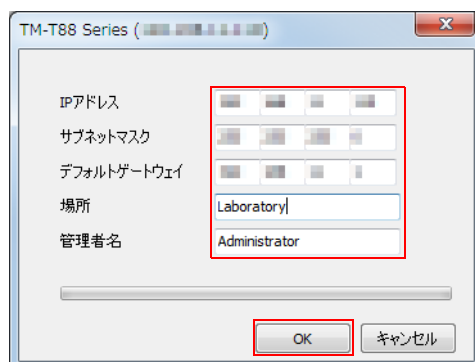
- 1 ネットワークプリンターの電源が入っていることを確認します。
- 2 本ツールを起動します。
- 3 機種一覧表示画面が表示されます。ネットワークプリンターが表示されます。
- 4 ネットワーク設定を変更するプリンターを選択し、[設定変更] ボタンをクリックします。



- 5 次の画面が表示されます。[ネットワーク基本設定] ボタンをクリックします。



- 6 次の画面が表示されます。ネットワーク設定を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



TM-T88 Series ([])

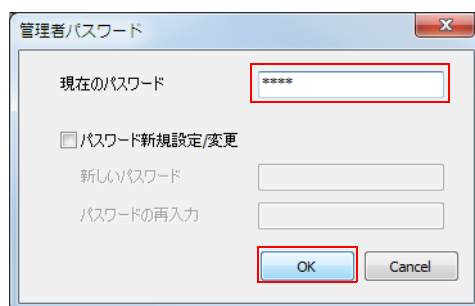
IPアドレス
サブネットマスク
デフォルトゲートウェイ
場所
管理者名

Laboratory
Administrator

OK キャンセル

- 7 " 管理者パスワード " 画面が表示されます。パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードを設定していない場合、何も入力しないで [OK] ボタンをクリックします。
パスワードを新規設定 / 変更したい場合、[パスワードを新規設定 / 変更] の項目をチェックし、パスワードを入力します。



管理者パスワード

現在のパスワード

パスワード新規設定/変更

新しいパスワード
パスワードの再入力

OK Cancel

- 8 " 情報 " 画面が表示されます。IP アドレスの設定の成功または失敗の情報が表示されます。

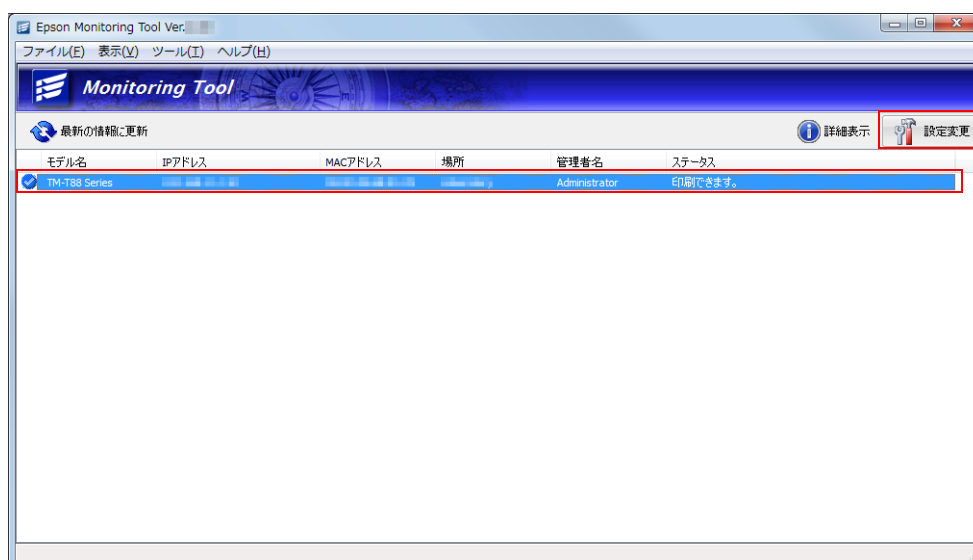
プリンターの設定を個別に変更する

参考

- プリンターの設定を変更するには、TM プリンターの機種専用ユーティリティや TM-C7500/TM-C3500 のプリンタードライバーを、事前にインストールしてください。例：TM-T88V の場合、TM-T88V Utility が必要です。
- 設定できる項目は、各プリンターの機種専用ユーティリティ、プリンタードライバーによって異なります。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

以下の手順で、プリンターの設定を個々に変更します。

- 1 プリンターの電源が入っていることを確認します。
- 2 本ツールを起動します。
- 3 機種一覧表示画面から、設定を変更するプリンターを選択します。選択後、[設定変更] ボタンをクリックします。

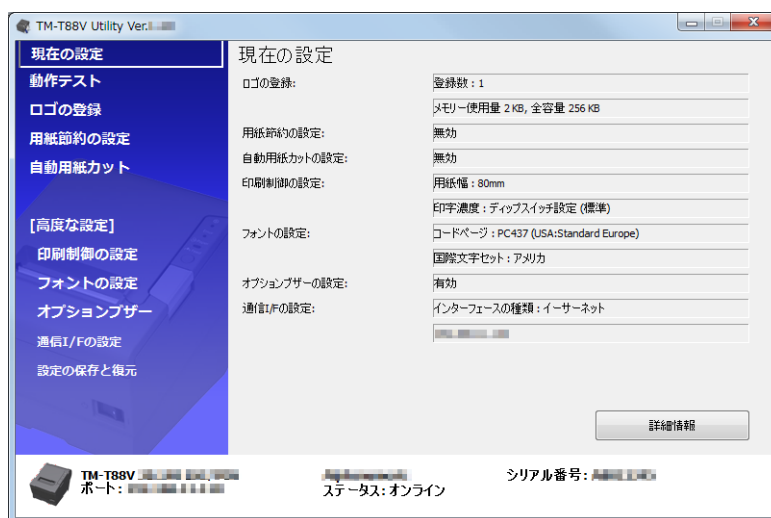


- 4 次の画面が表示されます。[プリンター設定] から設定するプリンターの機種を選択します。選択後、[起動] ボタンをクリックします。



- 5 各プリンターのユーティリティまたは PrinterSetting が起動します。プリンターの設定を変更します。設定方法や項目の詳細は、各ユーティリティのユーザーズマニュアルや各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

以下の画面は、TM-T88V Utility 起動時の画面です。



プリンターの設定を一括で変更する

プリンターの設定を一括で変更したり、証明書を一括で更新したりする場合、あらかじめバックアップファイルなどを用意してください。それから本ツールで設定を変更します。

ここでは、以下を説明します。

- バックアップファイルの作成 (38 ページ)
- プリンターの設定を変更 (42 ページ)
- 証明書の更新 (45 ページ)

バックアップファイルの作成

バックアップファイルは、本ツールからTMプリンターの機種専用ユーティリティまたはTM-C7500/ TM-C3500 の PrinterSetting を起動して作成します。

GP-C830/GP-C831/GP-C832 の場合、各機種の Printer Setting の [ファイル] - [保存] から xxx.cfg ファイルを作成してください。

ユーティリティの起動

以下の手順で、機種専用ユーティリティまたはTM-C7500/TM-C3500のPrinterSettingを起動します。

- 1 プリンターの電源が入っていることを確認します。
- 2 本ツールを起動します。
- 3 機種一覧表示画面から、バックアップファイルを作成するプリンターを選択します。選択後、[設定変更] ボタンをクリックします。
- 4 次の画面が表示されます。[プリンター設定]からバックアップファイルを作成するプリンターの機種を選択します。選択後、[起動] ボタンをクリックします。



- 5 各プリンターのユーティリティが起動します。

バックアップファイルの作成

TM プリンターの機種専用ユーティリティ

以下の手順でバックアップファイルを作成します。ここでは、TM-T88V Utility で説明しています。

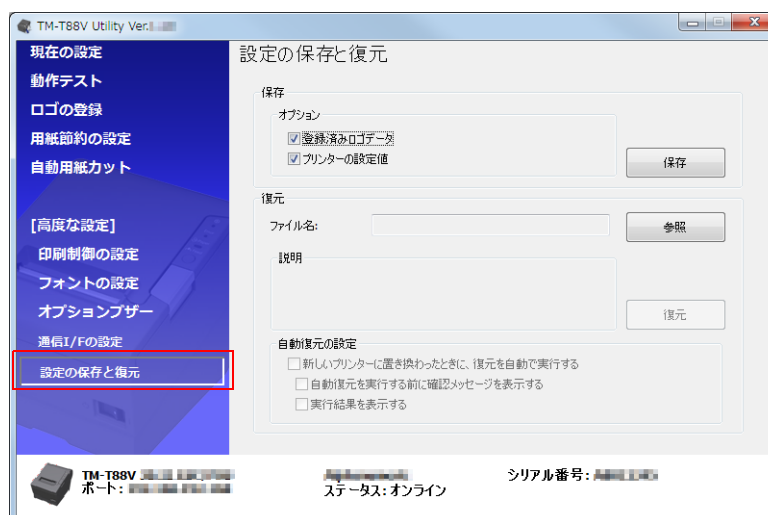
1 TM-T88V Utility を使って、各項目を設定します。



参考

プリンターによって、設定項目が異なります。詳細は、機種専用ユーティリティのマニュアルを参照してください。

2 [設定の保存と復元] を選択します。



3 [オプション]の中から、保存するデータをチェックします。

- 登録済みロゴデータ：プリンターに登録したロゴデータを保存します。ここでは、プリンターからデータを取得するのではなく、ロゴ登録ファイル（TLG ファイル）のデータを保存します。
- プリンターの設定値：プリンターの各種設定値を保存します。以下の設定値を保存します。
 - フォントの設定（フォントの置き換え、コードページ、国際文字セットの設定）
 - 印刷制御の設定（用紙幅、印刷速度、濃度など）
 - 用紙節約の設定
 - オートカットの設定

参考

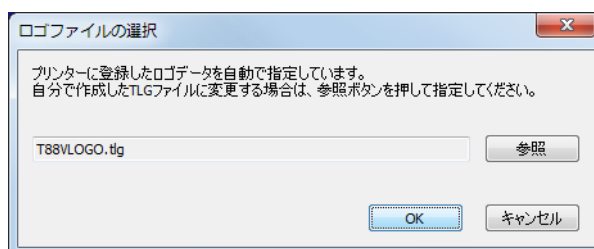
プリンターによって、設定項目が異なります。詳細は、機種専用ユーティリティーのマニュアルを参照してください。

4 [保存] ボタンをクリックします。バックアップの確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

- 手順3で[登録済みロゴデータ]をチェックした場合： 手順5に進んでください。
- 手順3で[登録済みロゴデータ]をチェックしなかった場合： 手順6に進んでください。

5 "ロゴファイルの選択"画面が表示されます。最後に保存したロゴファイル名が表示されず。[OK] ボタンをクリックします。

保存するファイルを変更したい場合、[参照] ボタンをクリックします。



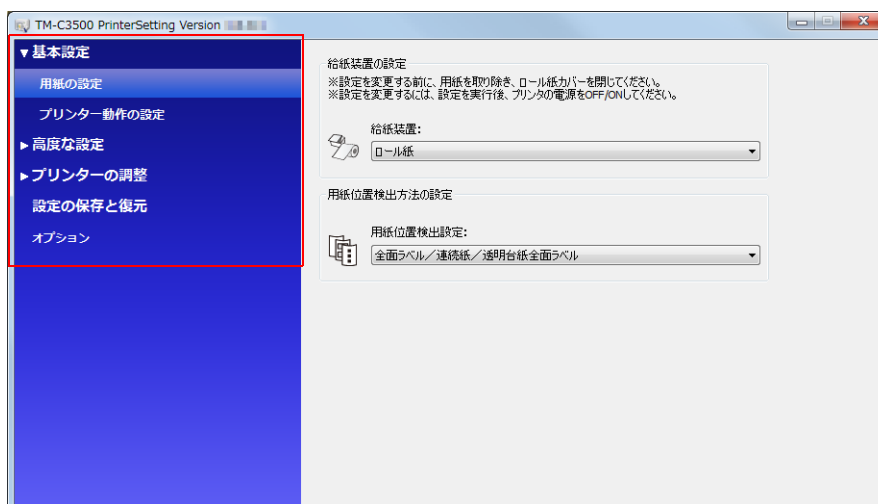
6 "名前を付けて保存"画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。バックアップファイルが作成されます。

7 完了画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

TM-C7500/ TM-C3500 PrinterSetting

以下の手順でバックアップファイルを作成します。ここでは、TM-C3500 PrinterSetting で説明しています。

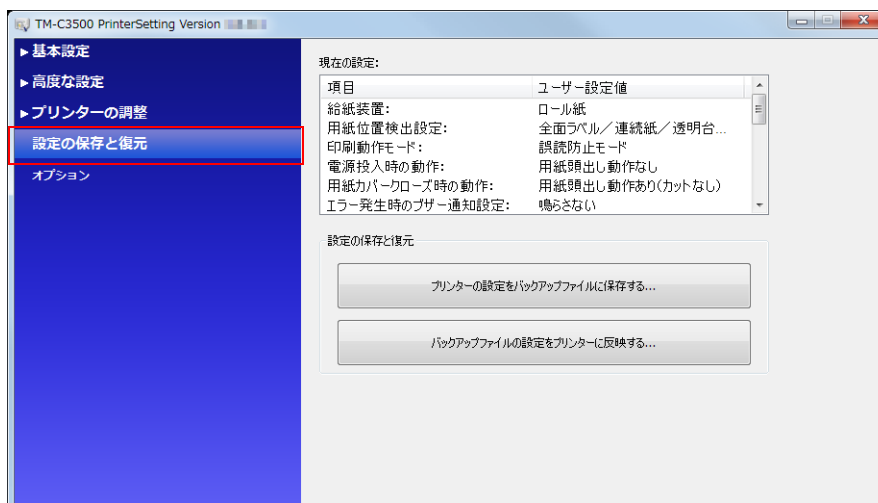
1 TM-C3500 PrinterSetting で各項目を設定します。



参考

各項目の設定方法は、プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

2 [設定の保存と復元] を選択します。



3 [プリンターの設定をバックアップファイルに保存する (TM-C7500 PrinterSetting の場合は保存を開始する)] ボタンをクリックします。

4 "名前を付けて保存" 画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。

5 確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。バックアップファイルが保存されます。

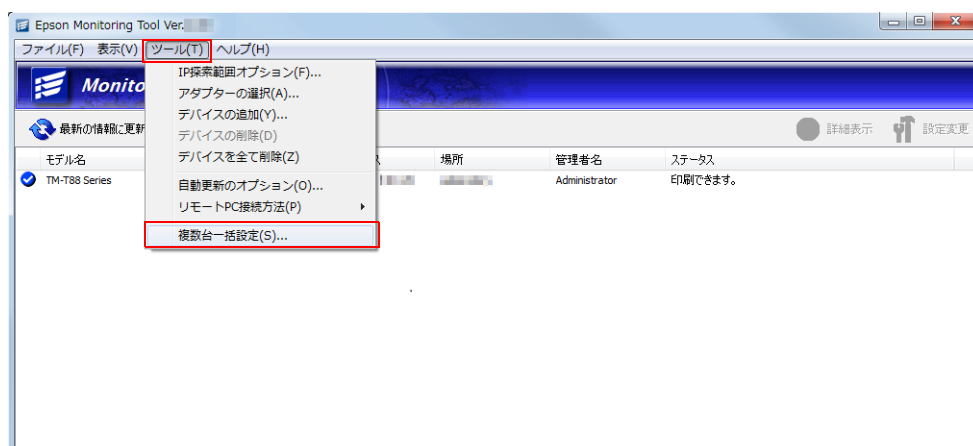
プリンターの設定を変更

参考

プリンターの設定を変更するには、事前に TM プリンターの機種専用ユーティリティや TM-C7500/ TM-C3500 のプリンタードライバーをインストールしてください。

バックアップファイル(.bak)を使用して、登録済みのプリンターの設定を一括で変更することができます。以下の手順で、プリンターの設定を変更します。

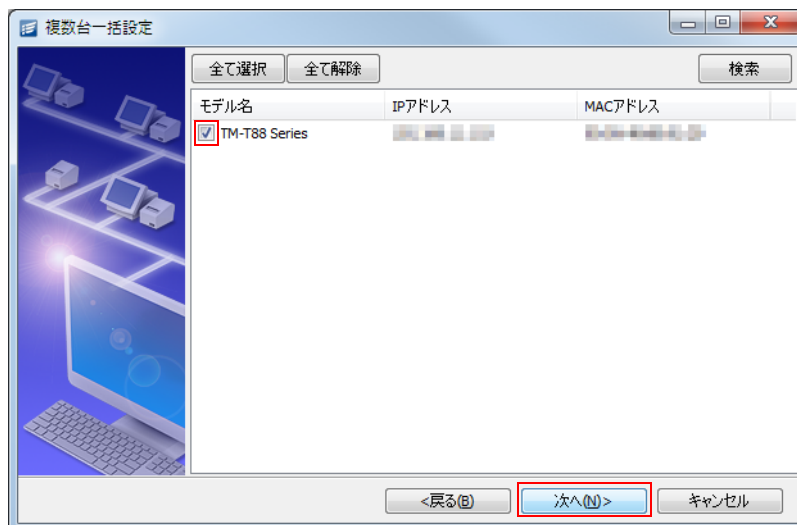
- 1 プリンターの電源が入っていることを確認します。
- 2 本ツールを起動します。
- 3 バックアップファイルを準備します。
バックアップファイルの作成方法は、38 ページ「バックアップファイルの作成」を参照してください。
- 4 機種一覧表示画面から、[ツール]-[複数台一括設定] 選択します。



- 5 "複数台一括設定" 画面が表示されます。[参照] ボタンをクリックし、バックアップファイルまたは .cfg ファイル (GP-C830/C831/C832) を設定します。設定後、[次へ] ボタンをクリックします。



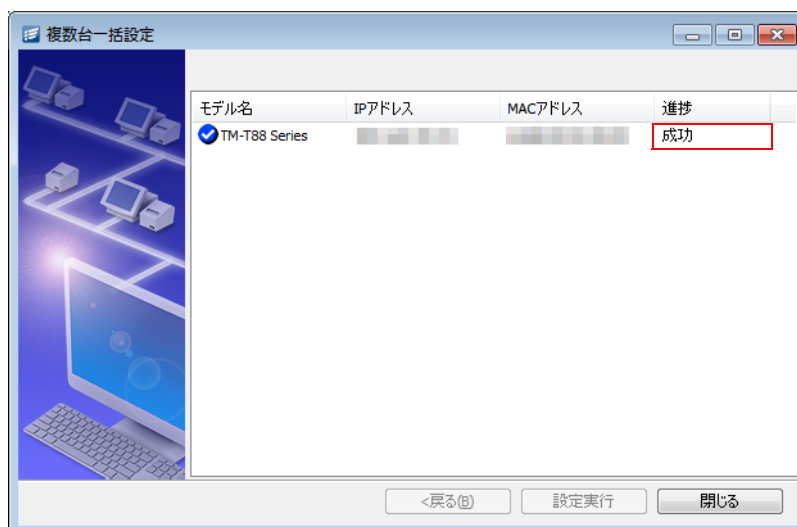
- 6 次の画面が表示されます。設定を変更するプリンターをチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 7 次の画面が表示されます。設定を変更するプリンターの一覧が表示されます。[設定実行] ボタンをクリックすると、設定が変更されます。



- 8 プリンターの設定変更が成功すると、[進捗]の項目に[成功]と表示されます。



- 9 [閉じる] ボタンをクリックします。

証明書の更新

WPA-Enterprise および WPA2-Enterprise で使用する証明書を一括で更新できます。

注意

設定可能なプリンターとファームウェアバージョンを確認してください。詳細は [11 ページ「設定できるプリンター」](#) を参照してください。サポートしていないファームウェアバージョンの場合、証明書の更新後に通信できなくなる可能性があります。

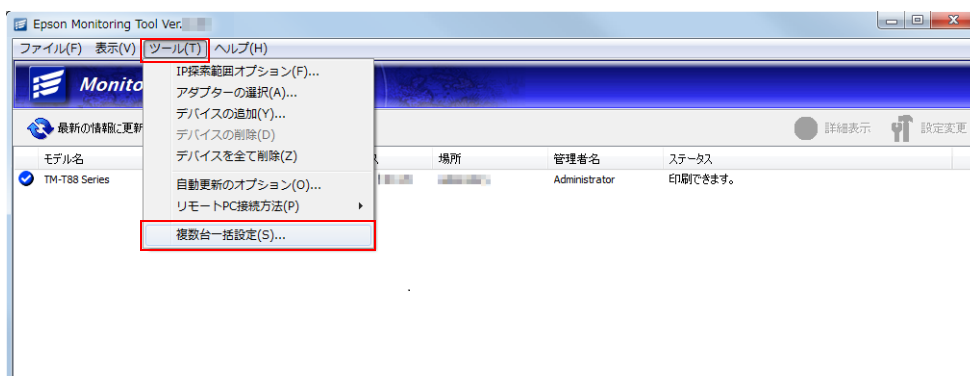
参考

以下の証明書ファイルを用意してください。

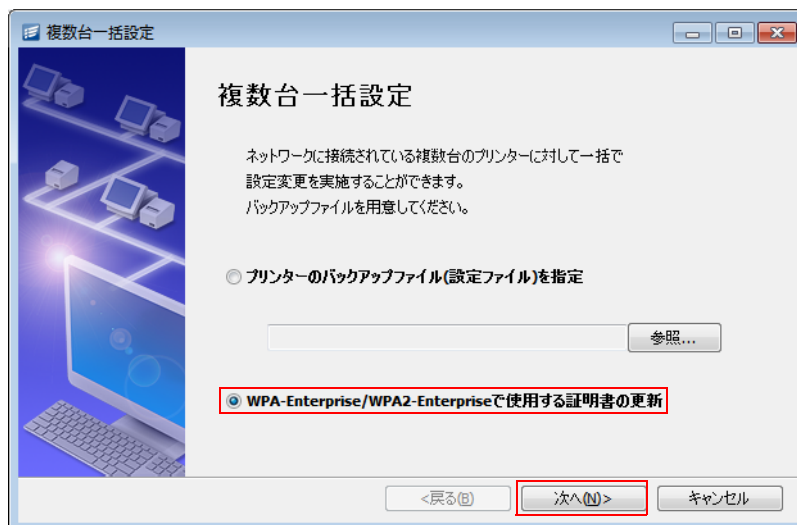
- クライアント認証の場合
 - * クライアント証明書と秘密鍵を 1 つのパッケージにします。パッケージは、PKCS#12 形式にします。PKCS#12 のパスワードは、64 文字以内で設定してください。
 - * ブラウザーから WebConfig を HTTPS 経由で使用する場合、WPA-Enterprise/WPA2-Enterprise、および SSL/TSL の両方で使用できる証明書を作成して登録してください。
- サーバー認証の場合
 - * CA 証明書を DER または PEM 形式にします。

以下の手順で証明書を更新します。

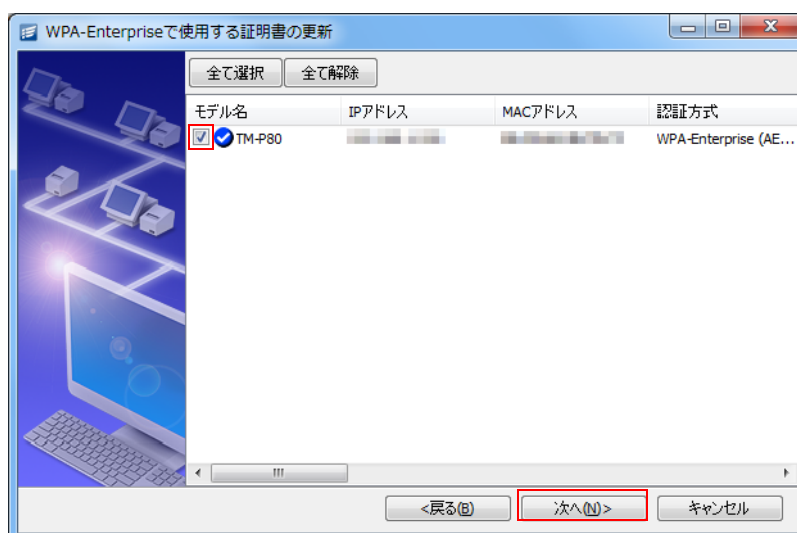
- 1 更新する証明書を用意してください。
- 2 ネットワークプリンターの電源が入っていることを確認します。
- 3 本ツールを起動します。
- 4 機種一覧表示画面から、[ツール]-[複数台一括設定] 選択します。



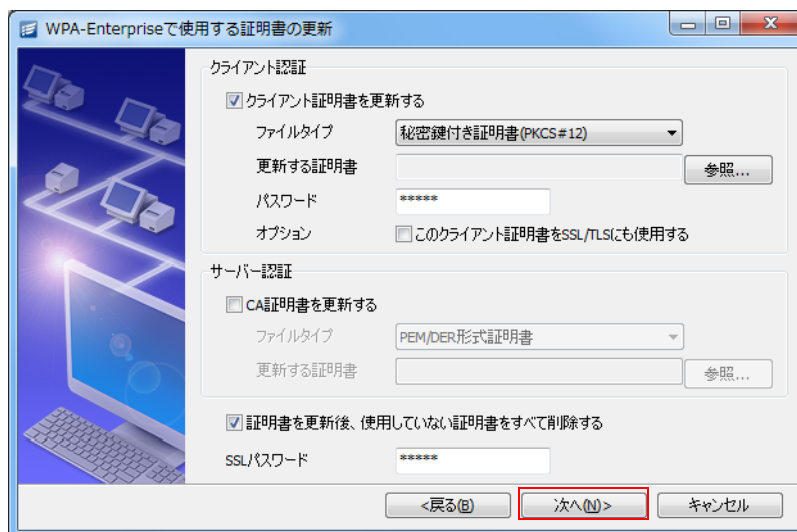
- 5 "複数台一括設定"画面が表示されます。[WPA-Enterprise/WPA2-Enterpriseで使用する証明書の更新]を選択します。選択後、[次へ] ボタンをクリックします。



- 6 次の画面が表示されます。証明書を更新するプリンターをチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

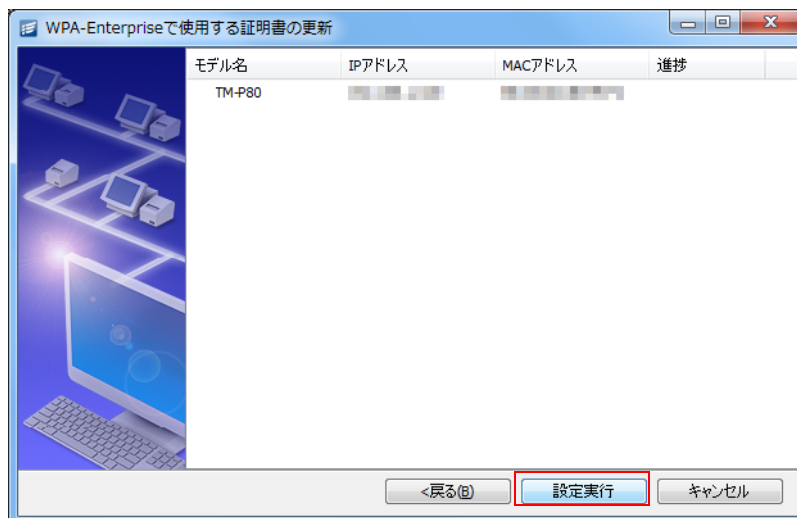


- 7 次の画面が表示されます。[クライアント証明書を更新する]または[CA証明書を更新する]をチェックし、更新する証明書を設定します。設定後、[次へ] ボタンをクリックします。

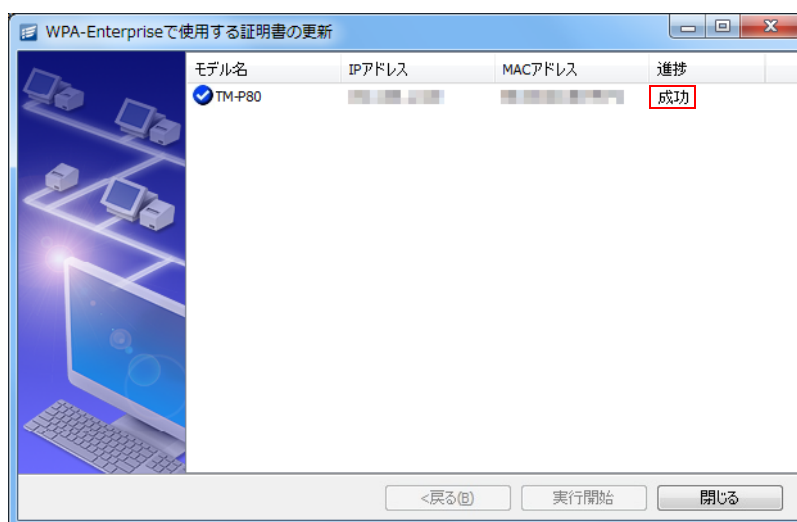


項目	説明	
クライアント認証	クライアント証明書を更新する	クライアント証明書を更新する場合、チェックします。
	ファイルタイプ	秘密鍵付き証明書 (PKCS#12) のみ証明書として登録できます。
	更新する証明書	更新する証明書を指定します。 [参照] ボタンをクリックし、ファイルを指定します。
	パスワード	クライアント証明書の作成時に指定したパスワードを入力します。
	オプション	チェックすると、クライアント認証で指定した証明書を EpsonNet Config (Web 版) で HTTPS 通信するためにも使用します。 この場合、WPA-Enterprise または WPA2-Enterprise、および SSL で使用する設定で証明書を作成しておいてください。
サーバー認証	CA証明書を更新する	CA 証明書を更新する場合、チェックします。
	ファイルタイプ	PEM/DER 形式証明書のみ証明書として登録できます。
	更新する証明書	更新する証明書を指定します。 [参照] ボタンをクリックし、ファイルを指定します。
証明書を更新後、使用していない証明書をすべて削除する	チェックすると、証明書更新時に使用していない証明書をすべて削除します。証明書の登録数が上限 (クライアント証明書 :3 個、CA 証明書 :10 個) に達していた場合、新しい証明書はインポートできません。	
EpsonNet Config の管理パスワード	EpsonNet Config (Web 版) の管理パスワードを設定している場合、パスワードを入力します。デフォルトは "epson" です。	

- 8 次の画面が表示されます。証明書を更新するプリンターの一覧が表示されます。[設定実行] ボタンをクリックすると、証明書が更新されます。



- 9 プリンターの証明書の更新が成功すると、[進捗] の項目に [成功] と表示されます。更新が失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの一覧と、対処方法は [49 ページ「証明書一括更新時のエラーメッセージ」](#) を参照してください。



- 10 [閉じる] ボタンをクリックします。

証明書一括更新時のエラーメッセージ

証明書一括更新時のエラーメッセージと対処方法は以下のとおりです。

エラーメッセージ一覧	対処方法
1: 設定可能なファイルではありません。	証明書ファイルが正しい形式であるか確認してください。
2: 通信に失敗しました。	プリンターが印刷できる状態になっているか確認してください。
3: ポートオープンに失敗しました。	プリンターが印刷できる状態になっているか確認してください。
4: ファイルが存在しません。	証明書ファイルが消えていないか確認してください。
5: HTTP でのインポートに失敗しました。	証明書ファイルが正しい形式であるか確認してください。 証明書の登録数が上限 (クライアント証明書 :3 個、CA 証明書 :10 個) に達していた場合、新しい証明書はインポートできません。
6: インポート済み証明書情報の取得に失敗しました。	プリンターが印刷できる状態になっているか確認してください。
7: SSL の設定に失敗しました。	プリンターが印刷できる状態になっているか確認してください。
8: WPA-Enterprise/WPA2-Enterprise の設定に失敗しました。	プリンターが印刷できる状態になっているか確認してください。
9: 未使用の証明書の削除に失敗しました。	プリンターが印刷できる状態になっているか確認してください。

故障プリンターの置き換え

故障したネットワークプリンターを新しいプリンターに置き換えるには、故障したプリンターの IP アドレスと設定を、新しいプリンターに設定する必要があります。

プリンターの設定をあらかじめバックアップファイルに保存しておくこと、新しいプリンターに設定を簡単に復元できます。

参考

プリンターが故障した場合に備えて、あらかじめ機種専用ユーティリティまたは TM-C7500/TM-C3500 の PrinterSetting で、バックアップファイルを作成しておくことをお勧めいたします。

機種専用ユーティリティがある TM プリンター

以下の手順で、故障プリンターを置き換えます。

- 1 故障したプリンターをネットワークから取り外します。
- 2 新しいプリンターをネットワークに接続して電源を入れます。
- 3 本ツールを起動し、IP アドレスを変更します。
[34 ページ「ネットワークプリンターのネットワーク設定変更」](#)を参照してください。
- 4 本ツールから機種専用ユーティリティを起動し、バックアップファイルを使用して設定を復元します。
機種専用ユーティリティの起動方法は、[36 ページ「プリンターの設定を個別に変更する」](#)を参照してください。

TM-C7500/ TM-C3500

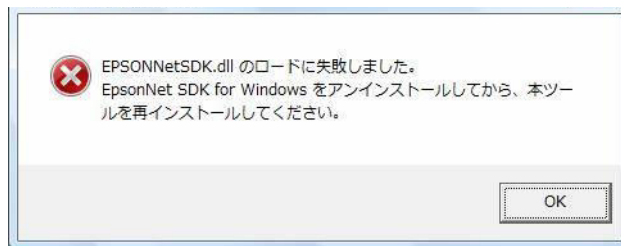
以下の手順で、故障プリンターを置き換えます。ここでは TM-C3500 で説明しています。

- 1 故障したプリンターをネットワークから取り外します。
- 2 新しいプリンターをネットワークに接続して電源を入れます。
- 3 本ツールを起動し、IP アドレスを変更します。
[34 ページ「ネットワークプリンターのネットワーク設定変更」](#)を参照してください。
- 4 本ツールから TM-C3500 PrinterSetting を起動し、バックアップファイルを使用して設定を復元します。
TM-C3500 PrinterSetting の起動方法は、[36 ページ「プリンターの設定を個別に変更する」](#)を参照してください。
- 5 プリンターに用紙をセットします。インクカートリッジをセットして初期充電します。

トラブルシューティング

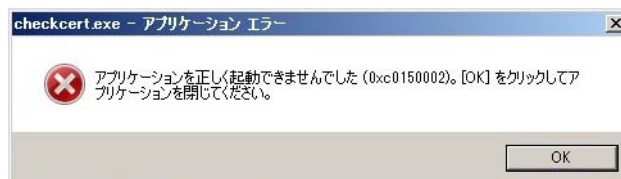
本章では、本ツールの問題発生時の対応方法を説明しています。

Q1. インストールは正常に完了するが、本ツール起動時に以下のメッセージが表示され、起動できない。



A1. EpsonNet SDK for Windows が正常にインストールされていない可能性があります。
[コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] から、[EpsonNet SDK for Windows] をアンインストールし、Epson Monitoring Tool を再インストールしてください。

Q2. 本ツールで証明書を更新しようとする時、以下のエラーメッセージが表示され、先に進まない。



A2. 以下を行ってください。

- Microsoft Visual C++ 2005 再配布可能パッケージをダウンロードしてインストール
- Microsoft Visual C++ 2008 再配布可能パッケージをダウンロードしてインストール
- Microsoft Visual C++ 2013 再配布可能パッケージをダウンロードしてインストール
- Windows Update の実行

Q3. 情報取得を実行しても、プリンターが表示されない。

A3. プリンターを正常に検索できていない可能性があります。

以下の項目が正常に設定されているか確認してください。

- プリンターの電源が入っていることを確認してください。
- プリンターがネットワークに正しく接続されていることを確認してください。
- コンピューターのネットワーク設定が正しいことを確認してください。
- Windows ファイアウォールが有効になっている場合、本ツールが例外リストに登録されていることを確認してください。(15 ページ「管理者コンピューターのファイアウォールの設定」、17 ページの「クライアントコンピューターのファイアウォールの設定」を参照)

ネットワーク負荷が高い状態でステータス取得を行うと、正常にステータスを取得できないことがあります。その場合、詳細情報ダイアログを表示し、個別にプリンターのステータスを再度取得してください。

ルーター外部のネットワークを検索したい場合、探索対象のネットワークを追加してください。

(29 ページの「ネットワークの探索」を参照)

別のネットワークアダプターに接続されている場合、探索するアダプターを選択してください。
(29 ページの「別のネットワークアダプターを探索」を参照)
上記を実行してもルーターの設定によってはプリンターを検索できない場合があります。
その場合、手動で検索したいプリンターを追加してください。
(26 ページの「クライアントコンピューターに接続されたプリンターの登録」を参照)
それでもプリンターを検索できない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

Q4. プリンターを検索すると、プリンターの IP アドレスは検索されるが、ステータスが取得できずステータス列に [デバイスと通信できません] と表示される。

A4. プリンターの IP アドレス設定が正しくない可能性があります。
プリンターの IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されているかどうか確認してください。

Q5. プリンターを検索すると、プリンターのモデル名に [Network Device] と表示され、ステータスが取得できない。

A5. プリンターとプリントサーバーが正常に接続されていない可能性があります。
プリンターとプリントサーバーが正常に接続されているかどうか確認してください。

Q6. プリンターを検索すると、プリンターの IP アドレスが複数表示され、ステータス列に [IP アドレスが重複しています] と表示される。

A6. 同一の IP アドレスを設定したプリンターが 1 つのネットワーク上に複数存在している可能性があります。
各プリンターの IP アドレスが別々に設定されているかどうか確認してください。

Q7. TM-Cxxxx 以外の TM プリンターで、[場所] や [管理者名] の項目が、正常に表示されない (文字化けする)。

A7. TMNet WebConfig(ブラウザーによる設定機能) で [場所] や [管理者名] の項目を、日本語などの文字で設定した場合、本ツールで文字が正常に表示されないことがあります。[場所] および [管理者名] には 2 バイト文字を使用できません。半角英数字を使用してください。
Windows 用のユーティリティの EpsonNet Config を使って [場所] や [管理者名] を設定してください。

Acknowledgements

About the Info-Zip License

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

- Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
- Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
- Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

About the OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

About the picojson License

This utility includes picojson.

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.